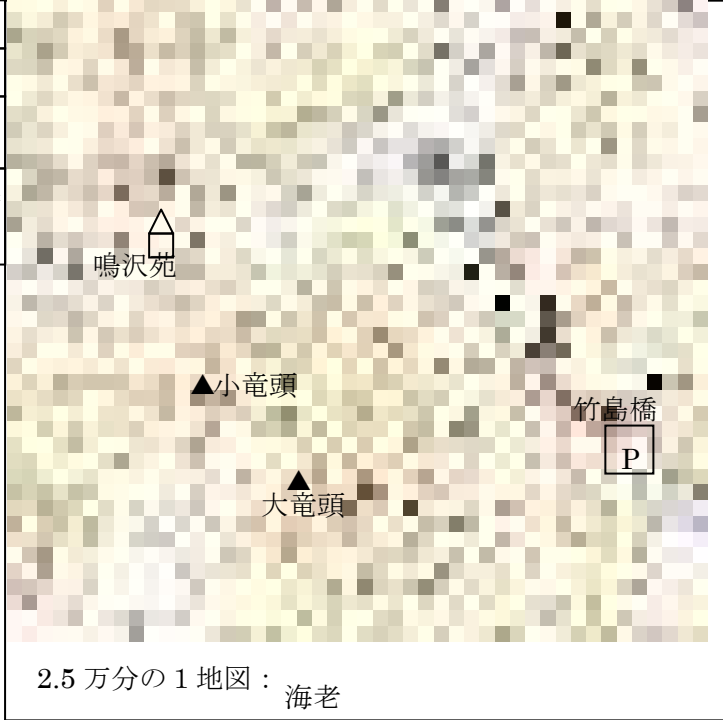


3 月 度 例 会 個 人 山 行 報 告 書		報告者	中山 正夫	参 加 メンバ-	CL:中山 正夫 SL:亀山 誠 神戸 和広
		報告日	3/14		
山 域	奥三河	山行日	12 年 3 月 10 日 (土)		
山 名	大竜頭・小竜頭				

山行目的	奥三河の忘れられた修験道に行く	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



3/10(土) 曇り  
06:30 亀山さん宅集合  
岡崎-新城-設楽町竹島  
08:20 竹島橋着  
08:35 出発  
09:20 休憩(岩場下部)  
10:00~:10 休憩(岩頭)  
10:15 大竜頭ピーク  
10:45~:55 小竜頭  
11:35 鳴沢苑  
12:15 竹島橋着  
13:20~14:10 本宮の湯  
14:55 亀山さん宅着  
17:00 岡崎龍溪院着  
17:30 オールトヨタ総会参加



大竜頭の岩壁

〈山行報告〉3/10(土)6:30 雨の中、亀山さん宅集合。岡崎-新城-設楽町へ入っていくが雨やまず、竹島橋に駐車したとたんにやんだ、役の行者様の加護かな? 亀山さんトップで当貝津川の右岸を用水沿いに進み、顕著な沢に入って行く。砂防堤を二つ巻いて、大岩に錫杖を持った行者像の所から左岸に渡渉する。杉の倒木を縫い土の急斜面を木の枝を掴んで岩壁の基部を目指して登る。ルートは分かりにくい、古い切り株が修験道の名残か目印になる。やがて岩壁を右に巻いて 10:00 岩頭に抜け出す。眺望よく宇連山、鞍掛山方面が見える。そこからすぐ上の大竜頭のピークには、数体の石像があり修験道の山を感じさせる。しかし、今来たルートに対してなのか、死亡事故(平成 19 年) あり通行禁止の貼紙があり、興をそぐ。神戸トップで一旦コルに下り、市町境界線まで登り返しここから、また読図による藪こぎ開始。沢を渡渉しバッチリ小竜頭に抜け出す。小竜頭 10:45 着、ここも岩頭で北側が切れ落ちており、平山明神山方面の眺望よし。下山ルートを慎重に協議し、ふたたび亀山さんトップで、岩壁を左に巻いて、土の急斜面を下る。岩バンドのトラバース 5m もあり緊張する。神戸が滑落しかけたが、とっさに杉の木に抱き着き

事なきをえる。その後は薄い踏み跡のある尾根を一気に下り、崩れそうな木造の橋を渡り、ます釣り場の鳴沢苑 11:35 通過する。鳴沢の滝(落差 20m)の真上のコンクリート橋を渡り国道 420 号を 3km 歩いて、竹島橋 12:15 着。本宮の湯で汗を流し亀山さん宅 14:55 着。一旦解散し、3 人ともオールトヨタ総会 (岡崎龍溪院) に 17:30 参加した。

〈リーダー所見〉以前から気になっていた大竜頭・小竜頭ルートは単独行では無理と思っていたので、強力な助っ人ふたりに助けられ、ほぼイメージ通りの読図山行ができました。登攀具は持っていったが、奥美濃の沢登りの経験から、なしでもいけると判断しました。ただ、ヘルメットは神戸さんの落石を受け役にたちました。

旅がらすこの岩の果て舞いあがれ  
地図にはあらむこの道をゆく  
花粉症なのに抱き着く崖の杉  
寒村やうぐいす鳴いてみみの春  
沖仙

確認 (リーダー)  
中  
12/03/12  
山  
作成 (報告者)  
中  
12/03/12  
山